

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら

**SOS** vol. 181通信  
H27年9月11日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
代表TEL：(0567) 26-3921  
FAX：(0567) 26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

《9月予定》  
6日 気まぐれ市（打太鼓）  
10日 外食DAY  
15日 ナイス・ホーム運営推進会議  
20日 避難訓練  
24日 誕生日会

《不定期行事》  
天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

《利用状況案内板（☆募集中 ☆満員）》

☆ナイス・ケア

☆ナイス・デイ（定員10名/日）

日	月	火	水	木	金	土
4	8	8	6	5	7	7

☆ナイス・ホーム（定員21名、登録者18名）

☆愛宕の家（定員17名中入居者15名）

☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ

★打太鼓

～上記を参考にご利用下さい～

小さな見守り隊/ナイス・キッズ

夏休み中、キッズ達は賑やかに遊ぶばかりではなかった。

とても帰宅願望が強いMさん。夏でも長袖のスーツを着込み炎天下でも容赦なく建屋を出て歩き出す。その直後のことである。「Mさんが行っちゃったから声かけてくる！」と、キッズ達の声と後を追う迅速な行動に「どんな声かけ?」と耳を澄ます。

「Mさ～ん、こんな暑い時に出ていたら倒れちゃうよー、もう少し涼しくなってからにしたらー？」

その声かけにMさん納得。数分後、キッズと一緒に施設に向かって笑顔で歩いてくる。

「Mさん出ていっちゃダメだよ！」とは言わなかった。否定しない声かけをしっかりと身に付けていたのだ。

キッズ達は下校後や夏休み等の長期休みをキッズで過ごすことにより、自然に高齢者と関わりをもち、認知症等の症状に触れている。無理強やさせない関わり方を自然に学び身につけている。

夏休みが終わった今、小さな見守り隊の存在の大きさを身に染みて感じている毎日だ・・・。(R.W)

ヘルパーの役割・・・/ナイス・ケア

老々介護・・・耳慣れた言葉になった。気付けばこの『老々介護』と思われる家庭が増えている。

膝の痛みを抱えながら寝たきりの妻を介護する夫、子も高齢者と言われる年齢の家庭。どこの家庭も排泄交換・食事介助・清拭の方法など、分からないながらも見よう見まねで献身的に介護をされている。

「自分だったらここまで出来るだろうか?」という尊敬にも値する気持ちと、心労が重ならないだろうか?という心配な気持ち。

ならば、自分達の役割は?と考える。些細な事でも相談しやすい関係だろうか?何を不安に感じ、どうしたら安心して介護が続けられるのか、そのためにヘルパーとしての専門的な知識をどう伝えたら良いのか・・・自分に問いながらの毎日です。(K.N)

愛宕の家のお母さん/愛宕の家

昨年の12月に入社『愛宕の家のお母さん』として週2回の勤務。何も分からず戸惑うことばかりの9ヶ月。責任感という見えない圧迫や、人と人との関わりの中で、少しずついろんな事が見えてきました。

入居者さんとの会話の中で最も感じたのは、皆さん“寂しい”ということ。そんな中で少しでも楽しみや生きがいを見つけていただける様、話に耳を傾け穏やかな日々を過ごしていただきたいと感じています。

私が愛宕の家のお母さんとしてどれだけ入居者さんたちに寄り添えるか・・・今の課題です。(Y.T)

母にしてあげられなかった事/ナイス・デイ

40年前、縁あって嫁いだ時からずっと一緒に暮らしてきた母は8年前に他界した。母はずっと自宅で過ごしたいと望んでいたが、主人も私も仕事があり、誰もそばにいてあげられなかった。最終的には口から食べる事が出来なくなり、病院でお世話になりながら息を引き取った。今思えばいつも淋しそうにしている姿が思い浮かぶ。本当はそばにいて話を聞いてあげればよかったなと時々胸が痛む。

今自分がいるナイス・デイでは利用者さんと、数分でも膝を突き合わせじっくりと話を聞く時間が取れる。自分が母にしてあげられなかったことを今、(仕事としてはあるが)出来ていることに幸せを感じている。もし今、母がいたらもう少し違う関わり方ができたかも・・・と思うが、きっとどこかで私の仕事を見ていてくれる。これからも笑顔絶やさず毎日を通りたい。(E.T)

手浴足浴の続編/SOS

麻痺や身体を動かせない利用者さんの手・足の冷えは継続中。8月も手浴足浴の指導を行いました。

今回は、勤続年数の長いスタッフの手浴の実技確認。声かけから始まり、身体を触られることへの気遣い、物品の確認。長年の介護スタッフでも実は不安があるのだろう。いろいろと確認されたことがある。手足浴に限らずだが、利用者さんの心身状態を踏まえていれば、個々の利用者さんに合った介助の方法があると私は思う。あくまでも基本を知った上でだが。【9月課題：口腔ケア】

私は、実技指導者としての役割を受けることで、自らの手技や対応も改め考えさせられる。9月にはアセッサー（評価者）としての研修受講も開始します。今からドギマギしています(H.O)

新たな一歩/ナイス・ホーム

Kさんに始めて出会ったのは入院中。退院に向け、本人、家族、病院関係者、介護関係者が話し合いをした時だった。『介護サービスをどのように利用したら安心して退院できるのか?・・・、人見知りの性格・状況変化に合わせて臨機応変な対応が必要といった点からナイス・ホームへ登録を決められた。初めは緊張でいっぱい顔も4ヶ月が経ち、顔なじみの利用者さんやスタッフに慣れ、「通いに来ることが楽しみだ」と言ってもらえるようになった。今は笑顔がいっぱい。足取りも安定し生活動作も順調に回復。洗濯なども自分でやれるまでになっている。

退院時に心配していた臨機応変な対応は今のKさんには無用。家族からも介護サービスを見直したいと希望があがった。定額費用の見直しもできるため『小規模登録を一旦解除してはどうか?』と提案。元々関わっていた居宅ケアマネに連絡を取り、「9月から担当をお願いしたい。」と依頼した。

本音を言えば定員が少なくなるのは避けた。それでも・・・利用者さんにとって一番良いと思える選択肢を素直に提案し対応していく事で、この地域での小規模多機能の役割を担いたい。(Y.O)

《お詫び》8月のSOS通信を読み、とても気弱になられた利用者さんがみえました。落ち込まれた様子を聞き、SOSを心から頼りにしていただいていることにも改めて気付かされました。私たちは文章の怖さも知った上で今後も毎月通信の発行を行います。本当に申し訳ありませんでした。(A.I)

『夏の宴』を終えて毎年恒例となっている、『お盆供養・夏の宴』には多数の参加を頂き、誠にありがとうございました。職員総出で準備をし、心ばかりの接待ではありましたが、天気にも恵まれ、楽しいひと時を過ごすことができました。多くの写真と共に参加者の方々の良い思い出になりますように!!(Y.I)

《編集後記》7月末、毎週開催していた社内カンファレンスの見直しが発表された。第1週は各事業所スタッフ全員が参加。第2、3週目は正社員。第4週は各事業所の責任者として選抜された者集結する。SOS内での事業所連携を強化するためです。各事業所が出た疑問点も全体カンファで解決し持ち帰る。各月毎に責任者が変わります。職員の意識改革を狙います。(Y.O)

